

分担金・拠出金の名称	地域農業研究機関拠出金	評価	C
拠出先の国際機関名	世界蔬菜研究開発センター(AVRDC)(アジア蔬菜研究研究開発センターより改称)		
国際機関の概要	●AVRDCは、開発途上国の貧困削減のため、蔬菜(野菜)類の生産技術の維持・改良及び、効率的な市場流通機構等の調査・研究、並びに有用遺伝資源の配布事業を行うことにより、環境を考慮しつつ、開発途上国の農村や都市近郊に生活する低所得者層の栄養改善と収入増加を図ることを目的。 ●AVRDCの本部は台湾に所在し、AVRDCは、我が国食品産業等との連携に積極的な関心を強めている。		
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標		達成状況	
1. (1) 成果目標:蔬菜に関する遺伝資源の管理数の増加, 研究成果の公表等による世界の食料供給への貢献 活動指標:AVRDCが保存・管理を行う遺伝資源数の増加, 毎年公表される論文数の増加		●蔬菜に関し、AVRDCが保存・管理を行っている遺伝資源数は2008年の約57000件から2014年には約61000件に大きく増加しており、成果指標を達成。 ●AVRDCの公表論文数は、2008年の年間46件から2014年には年間74件に大きく増加しており、成果指標を達成。 ●なお、AVRDCが保存・管理を行う蔬菜の種類は、2008年の404種から、2014年の439種へと増大しており、特に、トマト等の栄養学上も重要な品種の開発に重要な成果。これらの品種改良の成果は、我が国企業(カゴメ等)でも製品開発等において活用。	
(2) 成果目標:AVRDCの組織運営において重要な地位を確保。 活動指標:AVRDCの理事の地位を確保することにより、恒常的に我が国立場の的確な反映を図る。		●AVRDC設立時から、我が国関係者(交流協会総務部長)は、AVRDCの理事の地位を確保。 ●我が国は、AVRDCの最高意思決定機関である理事会に参加し、我が国食産業との連携を含め、我が国関心事項の反映を行っている(我が国企業等も参画した具体的な意見交換を10回以上実施)。	
(3) 成果目標:我が国食産業とAVRDCとが世界の蔬菜生産や品種改良を通じた連携を図ることにより、我が国の産業振興等にも貢献しつつ、蔬菜の生産性や機能性の向上に向けた取組を進展。 活動指標:我が国食産業がAVRDCと締結したMOUの増加, 関係会合の開催実績の増加。		●AVRDCと我が国食産業との関係では、2013年にカゴメ、タキイと、2014年にサカタのタネとのMOUを締結し、我が国食産業との連携を強化。 ●また、AVRDCは、我が国食産業関係者と2014年に新規に14回の製品開発等の連携に向けた会合を開催しており、我が国との連携強化に向けた一定の成果。 ●なお、2015年度からは農林水産省の事業により、AVRDCと我が国食産業との連携促進の枠組みを構築する取組が開始予定。	
(4) 成果目標:AVRDCの健全な財務状況の維持と情報公開の徹底を図る。 活動指標:AVRDCの毎年のキャッシュフローでの黒字運営の維持, 財務状況, 事業実施状況に関しての透明性の確保を図る。		●AVRDCは、2014年度も財務状況の黒字を達成。 ●AVRDCは、毎年開催される理事会の議論を踏まえつつ、事業成果等について取りまとめた年次報告書を作成し、ウェブ等で公開。	
2. PDCAサイクルの確保		AVRDCにおいては、以下の通りPDCAを確保。特に理事国である我が国関係者とは個別の接触・協議を実施。 ①Plan:理事会で毎年予算案を策定・承認。 ②Do:我が国の拠出金支払。AVRDCによる予算案執行。現地交流協会等によるAVRDCの運営・活動のモニタリング(理事会メンバー。本省と連携して対応)。 ③Check:内部・外部監査報告書による運営活動の成果を評価。財務状況等を毎年、当該国際機関のウェブサイトで公表。 ④Act:来年度予算の検討に際し、前年の成果目標の達成状況、我が国関係者との連携状況等をAVRDCから聴取し、これを反映。	
担当課・室名	国際協力局 地球規模課題総括課		